

感謝を力に、社会に貢献する人材へ



七海 智貴 さん
(経営学部 平成28年3月卒業)

母は働きながら、私と弟を女手ひとつで必死に育ててくれました。しかし、とても大学に進学できる家計状況ではありませんでした。そんな中でも母は「自分の好きな道に進みなさい」と応援してくれました。

私が創価大学への進学を決めた理由は、二つあります。一つ目は奨学金制度が充実していることです。創価大学はどの大学と比べても奨学金制度が充実しており、「少しでも母の手助けになれるかもしれない」と思いました。二つ目は自分が本当にやりたいことを見つけられるかもしれないと考えたためです。

進学先に迷っていたとき、創価大学の先輩の話聞く機会がありました。先輩はとても活き活きと、充実した大学生活を過ごしており、自分の進むべき道に向かって真摯に向き合う真剣さを感じました。「自分も本当にやりたいことを見つけたい。満足できる大学生活を送りたい」と思い、創価大学への進学を決意しました。

入学前に「創価大学創友給付奨学金」が採用になり、学費半額免除で4年間学ぶことができました。

入学の際に私は一つの目標を立てました。それは「誰にも負けないというくらい勉学に励む」ということでした。困難なことはたくさんありましたが、全力で勉学に取り組み「創価大学特待生」に採用して頂くこともできました。多くの資格も取得でき、勉学への挑戦によって自分の進みたい道や、やりたいことが明確になっていきました。

就職活動では、これまで学んできた金融業界、そして北海道に帰って地元で貢献したいと思い挑戦し、第一志望の企業から内定を頂くことができました。

私が4年間、大学生活を全うすることができたのは奨学金制度のお陰だと思います。創価大学の奨学金制度は多くの方の支援で成り立っていると伺いました。母、そして私の大学生活を支えてくださった方々に恩返しができるよう、使命の舞台で頑張っていきます。

私の父はなかなか仕事が上手いかず、身体にも障がいがあり、母も本当に苦労して、私たち3人兄弟を育ててくれました。

私が初めて創価大学を訪れたのは、姉の入学式のときです。創大生の元気ではずかしくした姿に、驚かされました。創価大学で学ぶ姉の充実した姿を見て「この大学で学べば間違いない」と思い、創価大学を受験することを決意しました。家計のことを考えれば、国公立大を目指した方がいいと思うこともありましたが、母が創価大学を強く勧めてくれ決意することができました。入学前に「創価大学創友給付奨学金」に採用され、安心して大学生活を送ることができるようになりました。

入学後は、法律の専門的知識を身に付け、それを生かせるような仕事に就きたいと考えていたことから、創価法学研究会と、法律教育センターに所属しました。そして、サークルの先輩や法律教育センターで勉強を教えてくださいのOBOG弁護士の方々の姿を見て、自身も弁護士となって人びとのために尽力したいと思うようになりました。

現在は、創価大学法科大学院に特待生として進学できるよう、受験勉強に励んでいます。大学から奨学金をいただけたことによって、経済的不安がなく勉強に集中できることが本当に幸せです。以前は、実家の家計状況に悩み、辛くなったこともありましたが、創価大学に進学してから、経済苦という試練があるからこそ、さらに成長できると思えるようになりました。創立者、家族をはじめお世話になった方々の恩に報いるため、さらに勉学に挑戦していきます。



堺谷 ひかり さん
(法学部4年)

お問い合わせ先

創価大学 学生課 奨学金係

☎ 042-691-2161

FAX 042-691-9475

平日/9:00~17:00 (土曜 9:00~12:00、日・祝日除く) 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236